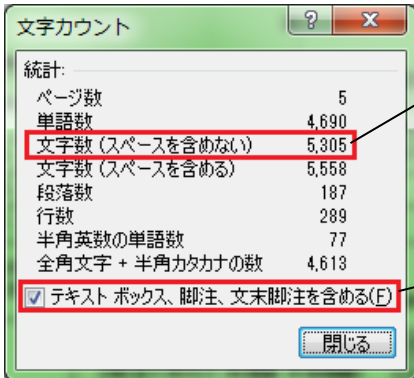


第45回(2022年度)法政大学懸賞論文募集要項

■応募資格	◆<u>法政大学の学部・通信教育部に在籍の学生であること</u> (※大学院生、科目等履修生を除く) ◆<u>未発表の論文であること</u> 応募は個人または共同のいずれでも可能です。ただし、他大学の学生や大学院生および本学の大学院生や卒業生など応募資格のない者との共同作成は不可です。
■提出受付期間	2022年9月26日(月)～2022年10月3日(月) 【学部生】 学習支援システム：23:59 / 【通信教育部生】 郵送：当日消印有効
■論題	論題は自由です。各自の関心に基づき自由に設定してください。
■言語	日本語もしくは英語。
■字数・文字サイズ	■日本語の場合 (A4)：24,000 字以内／10.5 ポイント／40 字×40 行 ■英語の場合 (A4)：8,000 語以内／Times New Roman 12 ポイント／29 行 (=行間 24 ポイント) ※目次・註・図表・文献・統計類を含みます。 ※表紙は除きます。 <字数のカウント方法について>  ① 文字数はここを参照。 ※英語の場合は、「単語数」を参照。 ② Word の「文字カウント」機能でカウントを行い 「文字数 (スペースを含めない)」の箇所を参照してください (図①)。 なお「テキストボックス、脚注、文末脚注を含める」に✓を入れて カウントしてください (図②)。
■提出形式	提出方法 (p. 4) を確認のうえ、提出締切日までに提出してください。

法政大学懸賞論文

法政大学懸賞論文は、本学学生のみなさんの研究活動を奨励し、論理的記述に関する能力の訓練・向上を図るとともに、優れた論文を広く社会に公表することを目的としており、今年で45回を数えます。論文は単なるレポートとは異なり、先行研究を十分に検討して書かなければいけないなど、いくつかの約束事を守る必要があります。これには日頃よりゼミ等で能力向上に努めるなど、継続的な努力が必要です。しかしながら論文の書き方を身につければ、自分が言いたいことを、説得力をもって相手に伝える力がつきます。

みなさんから独創性あふれる優れた論文が多く寄せられることを期待しています。

1. 論文の書き方について

論文作成にあたっては募集要項および「論文の書き方についての注意」を参照してください。

なお、

- ・個人的な体験談のみのもの
- ・社会的ないし個人的な背景の解説だけのもの
- ・単なる感想文
- ・極端に文章量の少ないもの

など、「論文」とは言い難いものについては、評価選考の対象としないので注意してください。

過去（～2016年度）の優秀論文については、各キャンパスの図書館で閲覧可能です。また本学HPにも掲載しています。

<https://www.hosei.ac.jp/campuslife/katsudo/kensho//>

2. 教員による推薦と本審査・予備審査について

《教員による推薦について》

応募論文は原則として、提出前に教員による推薦を得たうえで、「教員による推薦書」をご提出ください。

「ゼミに所属していないため指導教員がいない」、「通信教育部生のため、ゼミ等に所属しておらず指導教員がいない」等の理由で、やむを得ず「教員による推薦」を得ずに応募する場合は予備審査の対象となります。

《審査について》

全ての論文について、懸賞論文審査委員会が評価します。審査は「予備審査（該当論文のみ）」「本審査」の順で行います。なお、懸賞論文審査委員会が必要と判断した場合は、応募者に対して面接を行う可能性があります。

《予備審査について》

教員による推薦を得ていない論文については、論文の体裁不備や剽窃等を確認するため、懸賞論文審査委員会による予備審査を行います。

なお予備審査は、募集要項および「論文の書き方についての注意」に則り論文の体裁や形式を確認するためのものであり、論文の内容については予備審査通過後、本審査で評価します。

《本審査について》

審査員および懸賞論文審査委員会が個々の論文について評価します。

3. 剽窃について

剽窃（ひょうせつ。他人の文章などの字句または説を、ことわりもなく盗んで自分のものとして発表すること。）は許されない行為であり、学生の本分に著しく反する行為です。インターネットや書籍だけでなく、ゼミ等で共有されている研究成果等も、出典を明示しないなど不適切な形で、自らの論文に記載して提出した場合は剽窃とみなされる可能性があります。剽窃とみなされる箇所がある場合は失格となります。また、剽窃が発覚した際には、所属学部へ通知する場合があります。なお、受賞後でも遡及して受賞を取り消すほか、何らかの処分の対象となる可能性があります。引用文献等がある場合、注や文献リストを用いて適切な書式で明記してください。

4. 二重投稿・再投稿について

既発表の論文や、学内外に限らず学会等に投稿中の論文と同一内容もしくは、極めて類似した論文を提出した場合は「二重投稿」とみなされる可能性があります。また、過去に法政大学懸賞論文に応募した論文に、発展的な内容を新たに追記せず、再度懸賞論文に応募する行為は「再投稿」とみなされる可能性があります。法政大学懸賞論文では、二重投稿や再投稿とみなされた論文は、審査対象外とする場合があります。

5. 倫理的配慮について

個人の情報またはデータ等をアンケート、実験、調査等によって収集・採取するときは、予め研究対象者からの同意を原則文書にて得なければなりません。なお、その場合は法政大学懸賞論文表紙のチェックボックスの該当欄にチェックを入れてください。論文の中では、同意を得たことや同意の手続きについて記載されている箇所に、二重下線を引き示してください。

法政大学懸賞論文では、アンケート等を用いて収集・採取した個人の情報またはデータ等を使用している（法政大学懸賞論文表紙のチェックボックスの該当欄にチェックされている）のにも関わらず、「研究対象者から同意を得ていない論文」及び「同意を得たことが論文内で明示されていない論文」は、虚偽の申請を行ったと判断し、原則として審査対象外とします。

法政大学研究倫理規程： https://www.hosei.ac.jp/application/files/3815/7492/5822/kenkyuriri_kitei.pdf

法政大学「人を対象とする研究倫理」規程： http://www.hosei.ac.jp/documents/gaiyo/rinen/hito_kenkyurimri_kitei.pdf

6. 結果発表について

審査結果は**2023年2月中旬**に本学 HP で発表し、2月下旬に市ヶ谷キャンパスにおいて授賞式を行う予定です（詳細は入賞者におみ連絡します）。

7. 賞および賞金

総 長 特 別 賞	：	30万円
最 優 秀 賞	：	20万円
優 秀 賞	：	15万円
入 選	：	5万円
佳 作	：	1万円

●応募論文が入賞あるいは入選した場合、応募代表者および共同作成者の学部学科・学年・氏名（フルネーム）・顔写真・論題・キーワードについて、本学 HP や Web 掲示板・大学が発行する印刷物等で公表することがあります。

以上

懸賞論文提出方法

■提出書類（ファイル形式）

以下の1.～5.の書類を提出してください。

1. **第45回法政大学懸賞論文表紙** ファイル形式：(*.PDF)
2. **論文要旨およびキーワード提出用シート** ファイル形式：(*.PDF)
3. **論文本体（目次含む）** ファイル形式：(*.PDF)
※Excelは図表・統計類にのみ使用し、本文はWordで作成してください。
4. **教員による推薦書** ファイル形式：(*.PDF)
5. **懸賞論文提出表** ファイル形式：Microsoft Office Excel (*.xls, *.xlsx, *.xlsm)

※必要書類は本学HPから入手してください。

学生生活・スポーツ→課外活動→法政大学懸賞論文→懸賞論文の募集に関する書類

<https://www.hosei.ac.jp/campuslife/katsudo/kensho/>

■提出ファイルおよびファイル名

上記1.～5.の書類を提出する際は、**1.～4.の書類をそれぞれPDFファイルにし、1.～3.の書類については、1つのファイルに統合したうえで、ファイル名を以下の例と同様の名前でご提出ください。（ファイル名に名前や学生証番号を付けないでください。）**

（例）

- ・01. 提出する論文のタイトル名をファイル名としてください（01.は、1.～3.の書類を1つに統合したファイル）。
- ・02. 教員による推薦書
- ・03. 懸賞論文提出表

■提出方法

【学部生】

- 学習支援システムにて提出（提出方法については、別紙「懸賞論文提出操作マニュアル」を参照ください。）

【通信教育部生】

- 郵送にて提出（窓口提出不可）

- USBメモリに提出ファイルを記録し、簡易なケース（封筒可）に入れて以下の提出先に送付してください。

《送付先》

〒102-8160

東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学市ヶ谷キャンパス 富士見坂校舎 5 階
法政大学懸賞論文事務局(学務部学務課) 宛

※必ず「簡易書留」・「レターパックプラス」など配達記録が残る方法で送付してください。

※USBメモリの表面もしくはケースに学生証番号と氏名を記入して提出してください。

※USBメモリは本人への返却は行わないので、提出前に必ずバックアップを取ってください。

■提出受付期間

2022年9月26日（月）～2022年10月3日（月）

【学部生】 学習支援システム：23：59 / 【通信教育部生】 郵送：当日消印有効

懸賞論文作成要領

《法政大学懸賞論文表紙について》

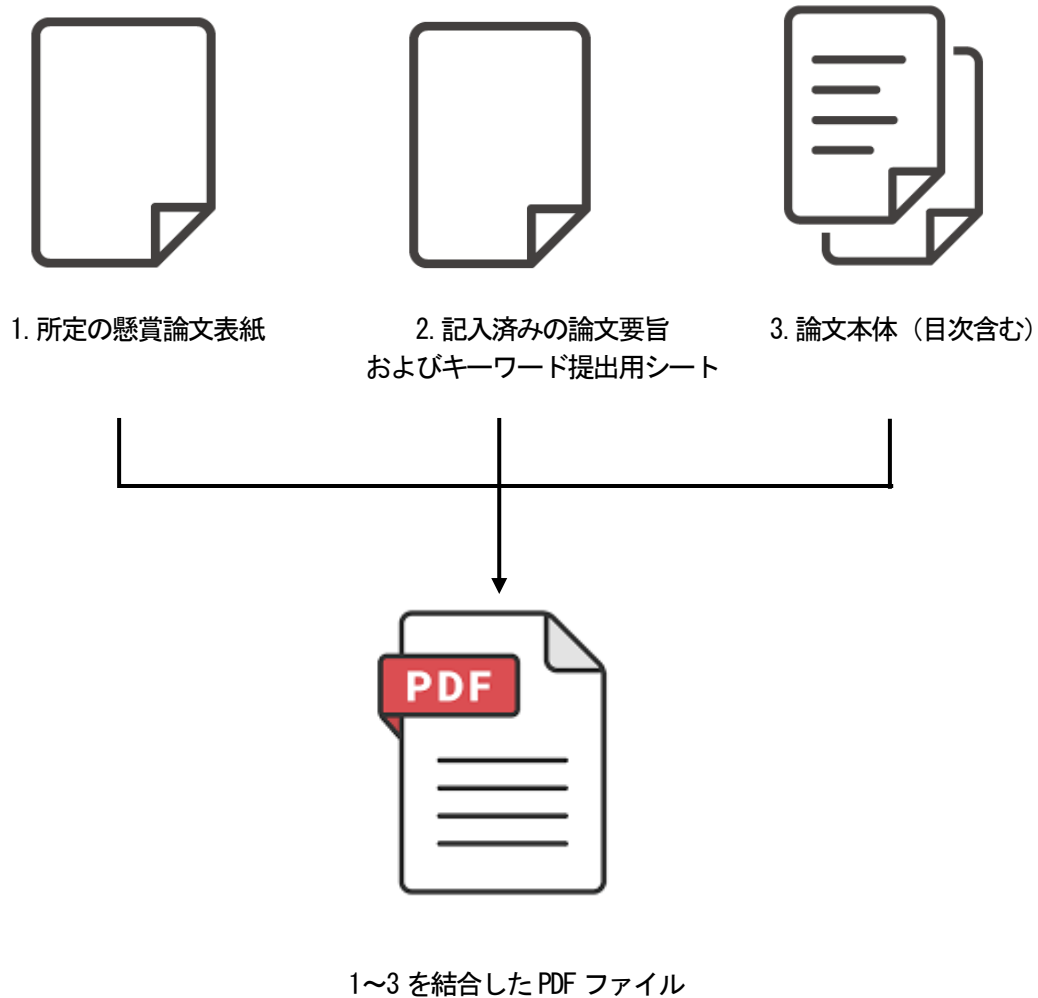
- 誤字・脱字の無いよう全ての項目を記入してください。
- 応募（代表）者確認欄について、全項目に不備が無いかを確認してください。

《論文要旨およびキーワード提出用シートについて》

- 論文要旨を 600 字（40 字×15 行）程度にまとめてください。

《結合順》

- 1 枚目・・・所定の懸賞論文表紙
- 2 枚目・・・記入済みの論文要旨およびキーワード提出用シート
- 3 枚目・・・目次（フッターのページ付は目次を P.1 とし、本文を P.2 からとします）
- 4 枚目・・・本文



《教員による推薦書》

- 全ての項目にチェックを入れてください。
- 日付を記入のうえ、自署してください。

■その他■

- (1) 本文中には「謝辞」は書かないでください。ただし、応募論文が入賞し、本学HP等に掲載することになった際は、謝辞の追記を認めます。
- (2) 応募論文の著作権は大学に帰属し、本人への返却は行いません。また、応募論文は、大学の個人情報保護規程に基づいて取り扱われます。
- (3) 応募にあたり提出された個人情報は、法政大学懸賞論文の応募・審査等に関わる目的以外に使用することはありません。なお、応募論文が入賞あるいは入選した場合、応募代表者および共同作成者の学部学科・学年・氏名(フルネーム)・顔写真・論題・キーワードについて、本学HPやWeb掲示板・大学が発行する印刷物等で公表することがあります。
- (4) 提出された論文等に不備等があった場合、懸賞論文事務局から応募代表者の方にお電話(03-3264-9303/9317)でご連絡することがあります。
- (5) 過去に、提出された論文が懸賞論文募集要項に則っておらず、審査対象外となったことがあります。

※提出後の修正や差し替えは一切認められません。

《応募・提出についての質問・連絡先》

東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学市ヶ谷キャンパス 富士見坂校舎 5 階
法政大学懸賞論文事務局(学務部学務課)

TEL: 03-3264-9303/9317

論文の書き方についての注意

懸賞論文審査委員会

論文は既存の研究（文献）と異なるオリジナリティのある知見を論理的・実証的に展開し、明晰に論じて得た言説です。

論文は読者に読んでもらうためのものであって、自分の覚え書きではありません。著者の主張を正確に伝えるには、長い伝統の中で確立してきた論文執筆の作法を踏まえて執筆することが肝要です。以下では論文執筆にあたり、特に注意すべき要点を述べておきます。

1. 問題設定・先行研究

論文の冒頭部分で問題設定を明確に行い、先行研究を参照してください。

- (1) 論文である以上、通常のスタイルとしては、その冒頭部分（序、はじめに、第一章、序論、プロローグ等）に、なぜこういう問題意識をもったのか、その理由あるいは自分の動機を書くことが望ましいです。
- (2) 論文全体がその問いに支えられ、全篇を通して、一貫性のある論理展開がなされ論述されるべきです。問題設定が不明確なままでは、何を主張したいのかが読者に正確に伝わりません。
- (3) 関連する先行研究を十分に調べることは論文執筆の基本です。既存研究で何がどこまでわかっており、あなたはこの研究の中で何をどこまで明らかにするのか。文献サーベイを通して、先行研究を踏まえた課題設定が重要です。

2. 末尾

論文の末尾部分（結論、結び、終わりに、終章、まとめ、エピローグ等）において、冒頭の「問題」に対応する「まとめ」を書くべきです。「序」と「結論」とは、呼吸が合っていなければなりません。

3. 調査

調査に基づく論文は、量的調査、質的調査にかかわらず以下の項目を明記してください。

- (1) 個人で実施した調査か、ゼミ等で実施した調査に参加したものか。
- (2) 調査の実施年月日、場所、対象者数、回収率、方法（面接法、郵送法等）。
- (3) 質問紙調査であれば調査票、半構造化面接調査であれば質問項目など、内容が理解できる資料を必ず添えること。

4. 研究者としての責任ある行動

学術研究を行う者には研究者としての社会的倫理に基づいた責任ある行動が求められます。特に、調査・インタビュー等などでご協力をいただいた方の個人情報、企業情報などの扱いやプライバシーの保護には十分に配慮する必要があります。

（「法政大学研究倫理規程」を参照

https://www.hosei.ac.jp/application/files/3815/7492/5822/kenkyuriri_kitei.pdf

5. 剽窃

自分の言葉と他者の言葉は明確に区別して執筆します。先行研究での到達点を示すことは論文を書く上での基本ですが、“コピペ”（コピー＆ペーストの略語）、切り貼りだけでは筆者のオリジナルな意見とは見なされないどころか、剽窃と判断され不正行為と見なされます。

長い引用で、直接引用する場合は2、3文字分、行頭から下げその箇所が引用であることを示し、引用文献を明記します。

6. 目次・注・文献リスト

目次、注および文献のリストを丁寧につけてください。

(1) 注は番号をふり、章末あるいは全体の末尾にまとめて記入するか、ページ毎に脚注として記入してください。なお引用注については、必ず引用箇所のページ数まで入れてください。

(2) 文献は、注とは別に、全体の末尾に文献リストを添えてください。

著者名、編者名、翻訳者名、書名あるいは論文名、掲載誌名、発行年、出版社名等を、明記してください。特にインターネット上の資料を掲載する場合には出典がはっきりしない場合があるので、URL およびアクセス年月日も付記してください（ただしインターネット上にある資料でも、書籍や雑誌、報告書など印刷媒体がある場合は、印刷媒体を優先してください）。

7. 論文の要旨の書き方

課題設定、分析方法、論旨の展開、そして得られた結論などを 600 字程度（40 字×15 行程度）を目安として、簡潔にまとめてください。査読者に自分の論文の意義をアピールするためには極めて重要です。

8. 執筆にあたって

早めに準備に着手し、書き直しをしてください。

(1) 一般に、一回の書き下ろしで良い完成稿をつくることは極めて困難です。第一次草稿→第二次草稿→（以下省略）→完成稿というように幾度も書き直して、できるだけ推敲を重ねると良いです。

(2) そのためには、早め早めに準備に着手し、書き直しをする時間的余裕を作るように工夫してください。時間切れのため、後半部分が展開不足となり惜しまれる論文がかなり多いです。

論文を書く準備として、常日頃から「読書ノート（あるいはカード）」と「自分の考え・発想を記すノート（あるいはカード）」という二系列のノートを蓄積しておくが良いです。知識と発想の組織的蓄積なしには、良い論文を書くことはできません。

9. 論文の書き方推薦図書

論文の書き方について解説している本は多数ありますが、2012 年以降に出版された代表的な書籍を以下に示します。なお、本学図書館の HP の「法政大学蔵書検索システム (OPAC)」や「パスファインダー (テーマ別探し方ガイド)」なども活用されると良いでしょう。

石黒圭 (2012 年)『論文・レポートの基本: この 1 冊できちんと書ける!』日本実業出版社

井下千以子 (2019 年)『思考を鍛えるレポート・論文作成法 (第 3 版)』慶応義塾大学出版会

酒井聡樹 (2015 年)『これから論文を書く若者のために: 究極の大改訂版』共立出版

佐藤望・湯川武・横山千晶・近藤明彦 (2020 年)『アカデミック・スキルズ: 大学生のための知的技法入門 (第 3 版)』慶應義塾大学出版会

白井利明・高橋一郎 (2013 年)『よくわかる卒論の書き方 (第 2 版)』ミネルヴァ書房

戸田山和久 (2022 年)『新版 論文の教室: レポートから卒論まで』NHK ブックス

American Psychological Association. (2020). *Publication manual of the American Psychological Association: The official guide to APA style* (7th ed.).

以 上

第 45回 法 政 大 学 懸 賞 論 文 表 紙

論 題

応募(代表)者 (氏名の記入は不要)

学 部 ・ 学 科

学 年

共同作成人数(いずれかに✓および人数を記入してください)

☐ 応募代表者を除き _____ 名 ☐ 応募代表者のみ

【応募（代表）者確認欄】

◎提出前に別紙チェックリストに従い提出書類に不備がないか確認後、応募（代表）者は、以下の□に✓を記入すること。

☐ 私は、論文要旨およびキーワード提出用シート／目次（頁付け含む）／文献リストを添付し、懸賞論文を提出します。

◎以下のチェックボックスは該当する場合のみチェックしてください。

☐ 教員による推薦は得ましたか。(教員による推薦を得ていない論文は予備審査の対象となります)

☐ (上記にチェックを付けた場合)教員による推薦書を添付しています。

☐ 私は、アンケート等を用いて個人の情報またはデータ等を収集・採取しています。

☐ (上記にチェックを付けた場合) 私は、上記の個人の情報またはデータ等を収集・採取する際に、予め研究対象者の同意を文書にて得ています。

☐ (上記にチェックを付けた場合)研究対象者から同意を得ていることを論文内に示し、当該部分に二重下線を引き示しています。

※個人の情報またはデータ等とは、個人又は集団の特性としての思想、心情、身体、行動及び環境等に関する情報又はデータ等をいいます。

※「研究対象者から同意を得ていない論文」及び「同意を得たことが論文内で明示されていない論文」は、虚偽の申請を行ったと判断し、原則として審査対象外とします。

詳しくは募集要項 3 頁「5 倫理的配慮について」をご確認ください。

提出期間 2022年9月26日(月)～ 10月3日(月)(厳守)

【学部生】学習支援システム:23:59 / 【通信教育部生】郵送:当日消印有効

論文要旨およびキーワード提出用シート

＜作成にあたって＞

- ・キーワードの記入を忘れないようにしてください。キーワード数はできるだけ2～3個に絞ってください。
- ・課題の設定、分析方法、論旨の展開、そして得られた結論を600字（40字×15行）程度に、明確にまとめてください。

1. キーワード ※記入必須。キーワード数はできるだけ2～3個に絞ること。

（記入例）失業率、高齢化、統計調査

《以下に記入してください》

2. 論文要旨 ※記入必須。課題の設定、分析方法、論旨の展開、そして得られた結論を600字（40字×15行）程度に、明確にまとめること。

《以下に記入してください》

第 45 回（2022 年度）法政大学懸賞論文 教員による推薦書

法政大学懸賞論文推薦教員各位

学生の応募論文を推薦される際、以下の項目をご確認ください。教員確認欄にチェックを入れていただき、日付と氏名に自署願います。

論題			
応募（代表）者			
学生証番号		学生氏名	

チェック項目	教員確認欄
上記は未発表の論文ですか。 （二重投稿は勿論、再投稿とみなされる論文は審査対象外となる場合があります。）	確認 ☐
社会的倫理に基づいた研究がなされていますか。	確認 ☐
論文の字数・語数は守られていますか。 日本語（A4）：24,000 字以内／10.5 ポイント／40 字×40 行 英語（A4）：8,000 語以内／Times New Roman 12 ポイント／29 行	確認 ☐
論文に相応しい論理展開がなされていますか。 また、然るべき書式に準拠して記述されていますか。	確認 ☐
先行文献への十分な言及がありますか。	確認 ☐
＜アンケート等を用いて個人の情報またはデータ等を収集・採取している場合＞ 個人の情報またはデータ等を収集・採取する際に、予め研究対象者の同意を文書にて得ていますか。 （研究対象者から同意を得ていることは論文内に示し、当該部分に二重下線が引かれていますか。）	確認 ☐
論文に剽窃が疑われる箇所はありませんか。 参考：Turnitin へのアクセス (https://www.hoseikyoiku.jp/lf/project/view.php?c=topics_view&pk=1522628924)	確認 ☐
（総合判断）懸賞論文への応募を推薦しますか。	確認 ☐

日付：2022 年 ____ 月 ____ 日

推薦教員：所属学部・学科 _____

氏名 _____

提出前に提出書類に不備がないか、このチェックリストを利用して確認してください
— このチェックリストは、提出する必要はありません —

懸賞論文提出書類 チェックリスト

応募論文について、以下の項目を満たしているか確認のうえ✓をつけてください。
所定の条件、論文としての体裁を満たしていない場合、失格となることがあります。
必ず募集要項等に目を通し、不備のないよう注意してください。

☐ 「論文要旨およびキーワード提出用シート」は添付してありますか。

☐ キーワードは2～3個程度記入してありますか。（記入必須）

☐ 目次ページはありますか。

☐ 目次ページを1ページ目とし、目次・本文に頁付けをしてありますか。

☐ 文献のリストはついていますか。

・文献リストには、著者名、編者名、翻訳者名、書名あるいは論文名、掲載誌名、発行年、出版社名等を、明記すること。特にインターネット上の資料を掲載する場合には出典がはっきりしない場合があるので、URL およびアクセス年月日も付記すること。

・インターネット上にある資料でも、書籍や雑誌、報告書など印刷媒体がある場合は、印刷媒体を優先すること。

☐ 参考・引用した全ての資料について、出典を明記してありますか。

☐ 注は番号をふり、章末あるいは全体の末尾にまとめて記入、あるいはページ毎に脚注として記入してありますか。（なお引用注については、引用箇所のパージ数も必ず入れること）

☐ 論文字数・語数は守られていますか。

日本語の場合(A4)：24,000字以内／10.5ポイント／40字×40行

英語の場合(A4)：8,000語以内／Times New Roman 12ポイント／29行（＝行間24ポイント）

☐ 誤字脱字はありませんか。

☐ 教員による推薦は得ましたか。（教員による推薦を得ていない論文は予備審査の対象となります）

☐ （上記にチェックを付けた場合）教員による推薦書を添付していますか。

☐ アンケート等を用いて個人の情報またはデータ等を収集・採取していますか。

☐ （上記にチェックを付けた場合）上記の個人の情報またはデータ等を収集・採取する際に、予め研究対象者の同意を文書にて得ていますか。

☐ （上記にチェックを付けた場合）研究対象者から同意を得ていることを論文内に示し、当該部分に二重下線を引き示していますか。

剽窃（ひょうせつ。他人の文章などの字句または説を、ことわりもなく盗んで自分のものとして発表すること。）は許されない行為であり、学生の本分に著しく反する行為です。インターネットや書籍だけでなく、ゼミ等で共有されている研究成果等も、出典を明示しないなど不適切な形で、自らの論文に記載して提出した場合は剽窃とみなされる可能性があります。剽窃とみなされる箇所がある場合は失格となります。また、剽窃が発覚した際には、所属学部へ通知する場合があります。なお、受賞後でも遡及して受賞を取り消すほか、何らかの処分の対象となる可能性があります。引用文献等がある場合、注や文献リストを用いて適切な書式で明記してください。

< 注 意 >

応募論文が入賞あるいは入選した場合、応募代表者および共同作成者の学部学科・学年・氏名（フルネーム）・顔写真・論題・キーワードについて、本学HPやWeb掲示板・大学が発行する印刷物等で公表することがあります。

<<記入例>>

懸賞論文募集要項「字数・文字サイズ」に記載されている「**字数のカウント方法**について」(p.1)を確認

応募代表者を**含まない**人数を入力してください。

第45回(2022年度)法政大学懸賞論文提出表						
文字数		18653字		ゼミ担当教員氏名(フルネーム) ※推薦教員ではありません。		● ● ● ●
応募代表者						
学部		学科		学年	学生証番号	
法		法律		3	20A1234	
フリガナ		○○ ○○				
氏 名		○○ ○○				
共同作成者						
共同作成者数:				2 名		
1	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
	法	政治	2	21A1234	△△ △△	調査(統計)
2	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
	法	国際政治	3	20A5678	△△ △△	分担執筆(担当箇所)
3	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
4	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
5	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
6	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
7	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
8	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
9	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
10	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容

今回の懸賞論文でご自身が担当した内容を記載してください。

※【記入例】も参照すること

第45回(2022年度)法政大学懸賞論文提出表

文字数		ゼミ担当教員氏名(フルネーム) ※推薦教員ではありません。				
応募代表者						
学部		学科	学年	学生証番号		
フリガナ						
氏 名						
共同作成者						
共同作成者数:			名			
1	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
2	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
3	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
4	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
5	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
6	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
7	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
8	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
9	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容
10	学部	学科	学年	学生証番号	氏名	共同作成の内容

学習支援システム 懸賞論文提出操作マニュアル

【1】授業支援システムにログイン

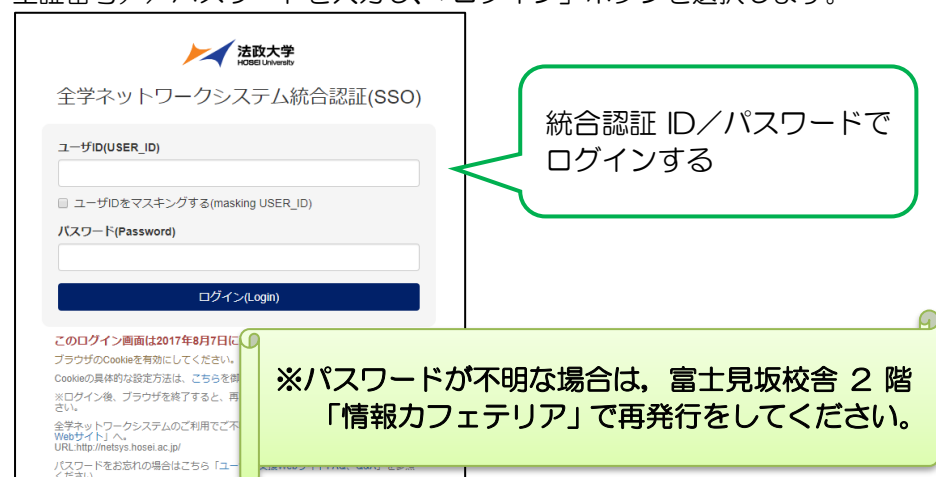
<https://hoppii.hosei.ac.jp/portal>

上記 URL から学習支援システムのウェブページを開き、ログインします。



ログイン

下記「net2010 総合認証システム」の画面が表示されますので、ユーザ ID（学生証番号）／パスワードを入力し、「ログイン」ボタンを選択します。



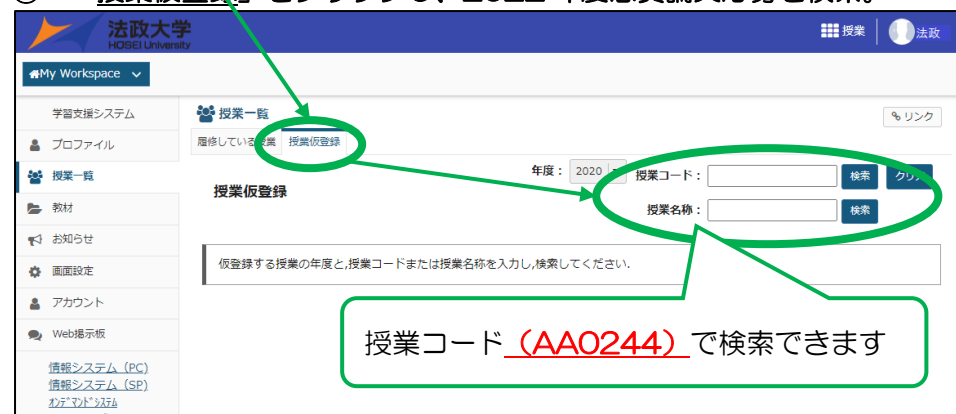
【2】懸賞論文（授業コード：AAO244）を検索

ログインに成功すると授業支援システムの画面が表示されます。ここで、2022 年度懸賞論文応募を選択し、利用します。

① 「授業一覧」をクリック



② 「授業仮登録」をクリックし、2022 年度懸賞論文応募を検索。



③ 登録する。

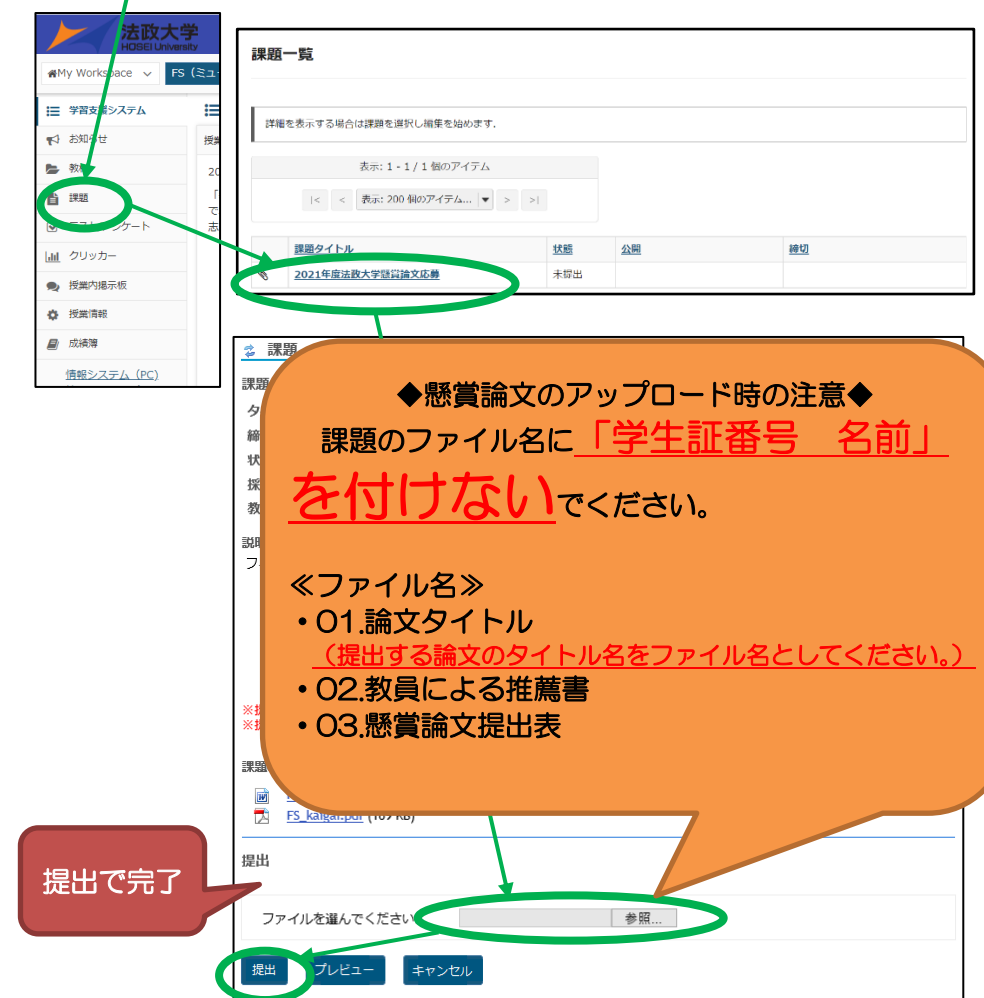


【3】懸賞論文を提出する

- ④ 自己登録した「2022 年度懸賞論文応募」のタブをクリック。登録科目が多く、タブに現れない場合は、「授業一覧」から選択。



- ⑤ 「課題」をクリックし、アップロードする。



★ 注意事項 ★

- ◆提出完了後、授業支援システムより「課題提出の通知」が届きます。そのため、授業支援システムで自分のメールアドレスが正しく登録されているか、必ず確認してください。

【メールアドレス確認・変更方法】

